

令和3年4月6日

新型コロナウイルス変異株流行国・地域への指定について

厚生労働省健康局、医薬・生活衛生局、検疫所  
外務省領事局

1. 「新型コロナウイルス変異株流行国・地域」について、現行の26か国（※）に加え、以下の3の国・地域を指定し、これらの国・地域に対して、英国及び南アフリカ共和国等と同様の水際強化措置を取ることとします。

- (1) カナダ（オンタリオ州）
- (2) スペイン
- (3) フィンランド

（※）現行26か国

アイルランド、アラブ首長国連邦、イスラエル、イタリア、ウクライナ、英國、エストニア、オーストリア、オランダ、スイス、スウェーデン、スロバキア、チェコ、デンマーク、ドイツ、ナイジェリア、パキスタン、ハンガリー、フィリピン、ブラジル、フランス、ベルギー、ポーランド、南アフリカ共和国、ルクセンブルク、レバノン

2. 上記3の国・地域からのすべての入国者及び帰国者については、これまで自宅等で入国後14日間の待機をしていただいてきたところですが、今後は、検疫所長の指定する場所（検疫所が確保する宿泊施設に限る）で待機いただき、入国後3日目に改めて検査を受けていただくことになります。その上で、陰性と判定された方については、検疫所が確保する宿泊施設を退所し、入国後14日間の残りの期間を、自宅等で待機していただくことになります。

以上

## 新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識

2020年10月29日、新型コロナウイルス感染症に関する現在の状況とこれまでに得られた科学的知見について、新たに10の知識としてとりまとめました。新型コロナウイルス感染症の発生をさらに抑えるためには、1人ひとりが最新の知識を身につけて正しく対策を行っていただくことが何よりも重要です。ぜひご覧下さい。

・[\(2021年3月時点\) 新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識](#)（※2021年4月15日掲載）

### (2021年3月時点) 新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識

#### 新型コロナウイルス感染症の患者数・病原性

1. 日本では、どれくらいの人が新型コロナウイルス感染症と診断されていますか。
2. 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化する人や死亡する人はどれくらいですか。
3. 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化しやすいのはどんな人ですか。
4. 海外と比べて、日本で新型コロナウイルス感染症と診断された人の数は多いのですか。

#### 新型コロナウイルス感染症の感染性

5. 新型コロナウイルスに感染した人が、他の人に感染させる可能性がある期間はいつまでですか。
6. 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、どれくらいの人が他の人に感染させていますか。
7. 新型コロナウイルス感染症を拡げないためには、どのような場面に注意する必要がありますか。

#### 新型コロナウイルス感染症に対する検査・治療

8. 新型コロナウイルス感染症を診断するための検査にはどのようなものがありますか。
9. 新型コロナウイルス感染症はどのようにして治療するのですか。
10. 接種の始まった新型コロナワクチンはどのようなワクチンですか。今後どのように接種が進みますか。

#### 新型コロナウイルスの変異株

11. 新型コロナウイルスの変異について教えてください。

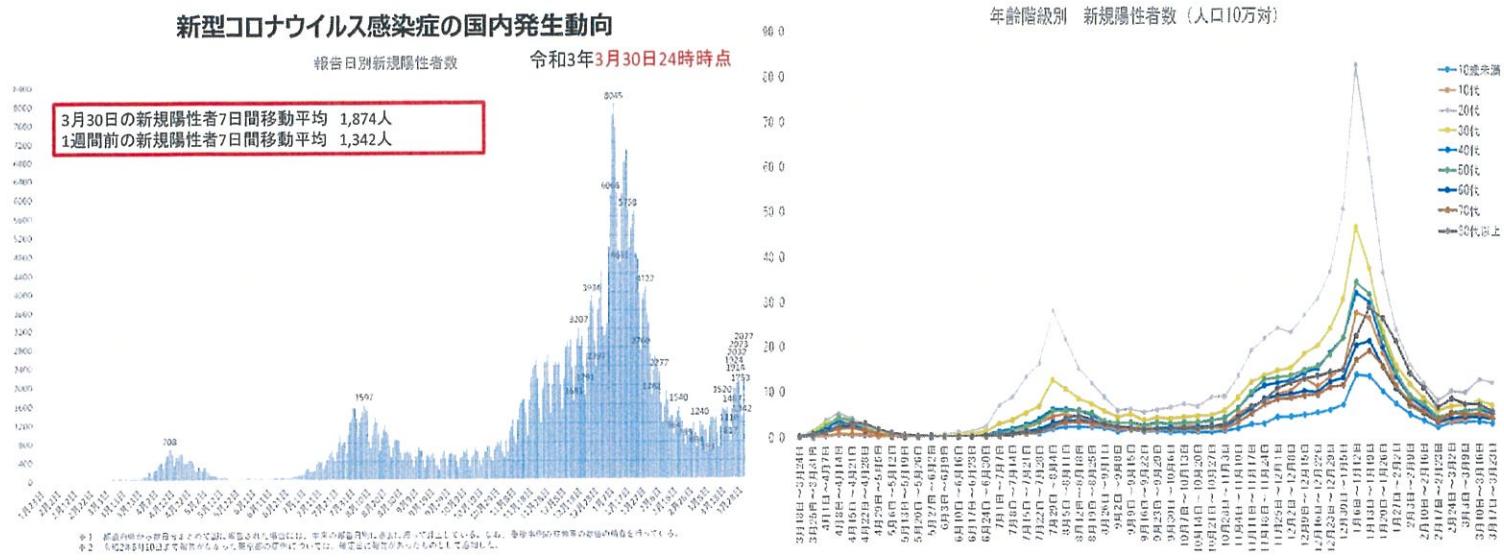
Q 日本では、これまでにどれくらいの人が新型コロナウイルス感染症と診断されていますか。

A 日本では、これまでに**472,112人**が新型コロナウイルス感染症と診断されており、これは全人口の**約0.4%**に相当します。国内の発生状況などに関する最新の情報は、以下のリンクをご参照ください：

<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html>

※ 感染していても症状が現れず医療機関を受診しない人などがいるため、必ずしも感染した人すべてを表す人数ではありません。

※ 人数は2021年3月31日0時時点



Q 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化する人や死亡する人はどれくらいですか。

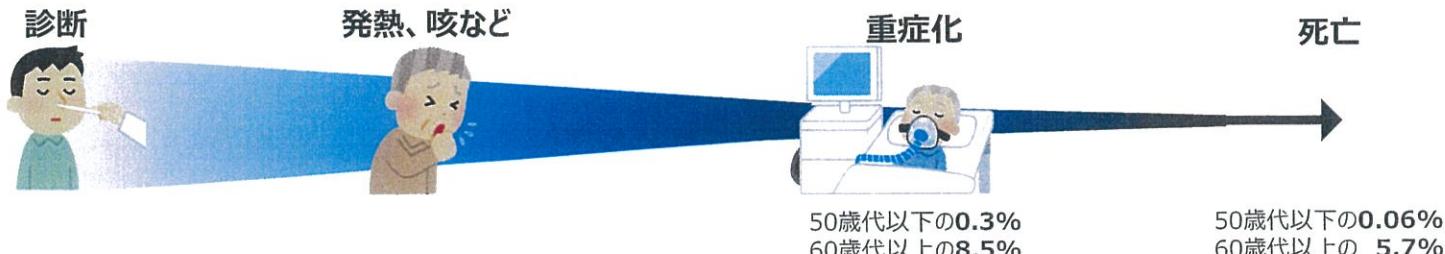
A 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化する人の割合や死亡する人の割合は**年齢によって異なり**、**高齢者は高く、若者は低い傾向**にあります。

重症化する割合や死亡する割合は以前と比べて低下しており、6月以降に診断された人の中では、

・重症化する人の割合は 約1.6%（50歳代以下で0.3%、60歳代以上で8.5%）

・死亡する人の割合は 約1.0%（50歳代以下で0.06%、60歳代以上で5.7%）となっています。

※「重症化する人の割合」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例（無症状を含む）のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例または死亡した症例の割合。



#### 診断された人のうち、重症化する割合 (%)

年代(歳) 診断月	0 -9	10 -19	20 -29	30 -39	40 -49	50 -59	60 -69	70 -79	80 -89	90- 計	
6-8月	0.09	0.00	0.03	0.09	0.54	1.47	3.85	8.40	14.50	16.64	1.62
1-4月	0.69	0.90	0.80	1.52	3.43	6.40	15.25	26.20	34.72	36.24	9.80

#### 診断された人のうち、死亡する割合 (%)

年代(歳) 診断月	0 -9	10 -19	20 -29	30 -39	40 -49	50 -59	60 -69	70 -79	80 -89	90- 計	
6-8月	0.00	0.00	0.01	0.01	0.10	0.29	1.24	4.65	12.00	16.09	0.96
1-4月	0.00	0.00	0.00	0.36	0.61	1.18	5.49	17.05	30.72	34.50	5.62

出典：2020年10月22日第11回アドバイザリーボード資料（京都大学西浦教授提出資料）より作成

Q 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化しやすいのはどんな人ですか。

A 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち重症化しやすいのは、高齢者と基礎疾患のある方です。

重症化のリスクとなる基礎疾患等には、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満、喫煙があります。

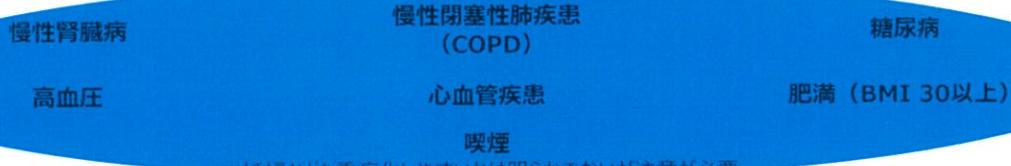
また、妊婦なども、重症化しやすいかは明らかでないものの、注意が必要とされています。

### 30歳代と比較した場合の各年代の重症化率

年代	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
重症化率	0.5倍	0.2倍	0.3倍	1倍	4倍	10倍	25倍	47倍	71倍	78倍

※「重症化率」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例（無症状を含む）のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例または死亡した症例の割合。

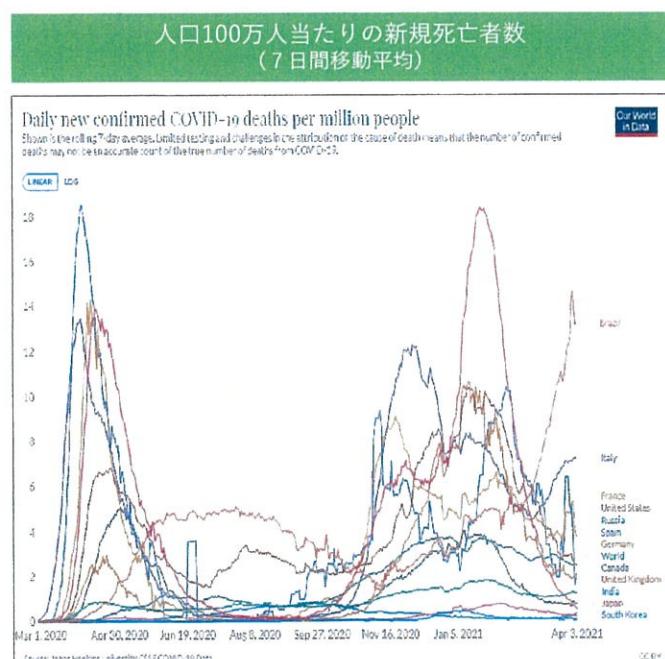
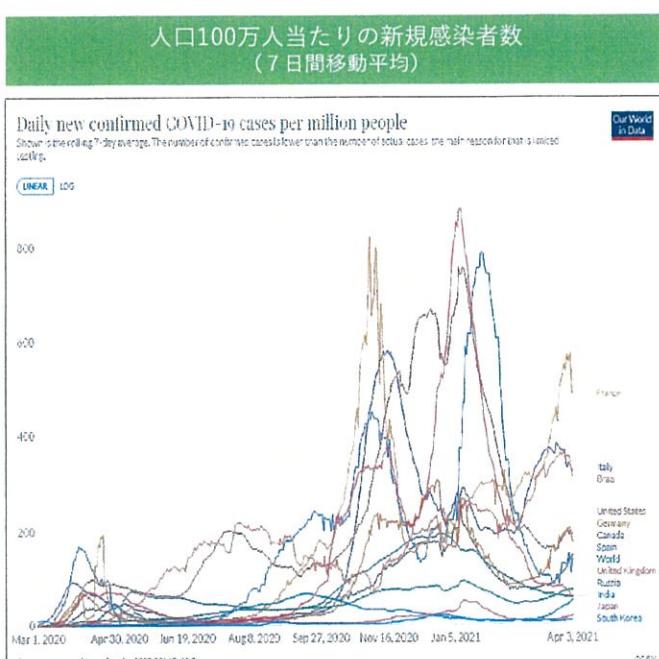
### 重症化のリスクとなる基礎疾患



出典：京都大学西浦教授提供データ及び新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第4.2版に基づき厚生労働省にて作成

Q 海外と比べて、日本で新型コロナウイルス感染症と診断されている人の数は多いですか。

A 日本の人口当たりの感染者数、死者数は、全世界の平均や主要国と比べて低い水準で推移しています。



出典：Our World in Data (2021年4月5日に利用)

Q 新型コロナウイルスに感染した人が、他の人に感染させてしまう可能性がある期間はいつまでですか。

A 新型コロナウイルスに感染した人が他の人に感染させてしまう可能性がある期間は、**発症の2日前から発症後7～10日間程度**とされています。※

また、この期間のうち、発症の直前・直後で特にウイルス排出量が高くなると考えられています。

このため、新型コロナウイルス感染症と診断された人は、**症状がなくとも、不要・不急の外出を控えるなど感染防止に努める必要があります。**

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第4.2版より

Q 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、どれくらいの人が他の人に感染させていますか。

A 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、**他の人に感染させているのは2割以下で、多くの人は他の人に感染させていない**と考えられています。

このため、感染防護なしに3密（密閉・密集・密接）の環境で多くの人と接するなどによって**1人の感染者が何人もの人に感染させてしまうことがなければ、新型コロナウイルス感染症の流行を抑えることができます。**

体調が悪いときは不要・不急の外出を控えることや、人と接するときにはマスクを着用することなど、新型コロナウイルスに感染していた場合に多くの人に感染されることのないよう行動することが大切です。

※ マスクの着用により、感染者と接する人のウイルス吸入量が減少することがわかっています。（布マスクを感染者が着用した場合に60-80%減少し、感染者と接する人が着用した場合に20-40%減少。）

Ueki, H., Furusawa, Y., Iwatsuki-Horimoto, K., Imai, M., Kabata, H., Nishimura, H., & Kawaoka, Y. (2020). Effectiveness of Face Masks in Preventing Airborne Transmission of SARS-CoV-2. *mSphere*, 5(5), e00637-20.

Q 新型コロナウイルス感染症を拡げないためには、どのような場面に注意する必要がありますか。

A 新型コロナウイルス感染症は、主に飛沫感染や接触感染によって感染するため、3密（密閉・密集・密接）の環境で感染リスクが高まります。

このほか、飲酒を伴う懇親会等、大人数や長時間におよぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わりといった場面でも感染が起きやすく、注意が必要です。

### 感染リスクが高まる「5つの場面」

#### 場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。
- また、睡覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



#### 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



#### 場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



#### 場面④ 狹い空間での共同生活

- 狹い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寝室の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



#### 場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の流れや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



Q 新型コロナウイルス感染症を診断するための検査にはどのようなものがありますか。

A 新型コロナウイルス感染症を診断するための検査には、PCR検査、抗原定量検査、抗原定性検査等があり、いずれも被検者の体内にウイルスが存在し、ウイルスに感染しているかを調べるための検査です。

新たな検査手法の開発により、検査の種類や症状に応じて、鼻咽頭ぬぐい液だけでなく、唾液や鼻腔ぬぐい液を使うことも可能になっています。

なお、抗体検査は、過去に新型コロナウイルス感染症にかかったことがあるかを調べるものであるため、検査を受ける時点で感染しているかを調べる目的に使うことはできません。

検査の対象者	PCR検査 (LAMP法含む)			抗原検査 (定量)			抗原検査 (定性)		
	鼻咽頭	鼻腔	唾液	鼻咽頭	鼻腔	唾液	鼻咽頭	鼻腔	唾液
有症状者	発症から9日目以内	○	○	○	○	○	○※1	○※1	×
	発症から10日目以降	○	○	×	○	○	△※2	△※2	×
無症状者	○	×	○	○	×	○	×※3	×※3	×

※1 発症2日目から9日目以内に使用 ※2 隆性の場合は必要に応じてPCR検査等を実施。※3 確定診断としての使用は推奨されないが、結果が陰性の場合でも感染予防策を継続すること等要件の下で、感染拡大地域の医療機関や高齢者施設等において幅広く検査を実施する際にスクリーニングに使用することは可能。

#### 検体採取の例 (抗原定性検査、鼻咽頭ぬぐい液と鼻腔ぬぐい液の場合)



鼻から綿棒を挿入し、  
鼻咽頭を数回こする  
(医療従事者が採取)



鼻から綿棒を2cm程度挿入し、  
5回転させ、5秒程度静置  
(自己採取も可)

※図はデンカ株式会社より提供

Q 新型コロナウイルス感染症はどのようにして治療するのですか。

A 軽症の場合は経過観察のみで自然に軽快することが多く、必要な場合に解熱薬などの対症療法を行います。

呼吸不全を伴う場合には、酸素投与やステロイド薬（炎症を抑える薬）・抗ウイルス薬<sup>※1</sup>の投与を行い、改善しない場合には人工呼吸器等による集中治療を行うことがあります<sup>※2</sup>。

こうした治療法の確立もあり、新型コロナウイルス感染症で入院した方が死亡する割合は低くなっています。

発熱や咳などの症状が出たら、まずは身近な医療機関に相談してください。

※1 新型コロナウイルス感染症の治療として承認を受けている抗ウイルス薬として、国内ではレムデシビルがあります。（2021年3月31日時点）  
※2 集中治療を必要とする方または死亡する方の割合は、約1.6%（50歳代以下で0.3%、60代以上で8.5%）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第4.2版より抜粋・一部改変

#### 入院した症例に対する薬物治療の状況と死亡する割合 (COVID-19 レジストリ研究解析結果<sup>※4</sup>)

- 6月以降に入院した症例では、6月以前に入院した症例と比べて以下の傾向にある。
  - 特に入院時に重症であった症例において、新型コロナウイルス感染症に適応のあるレムデシビルやステロイド薬の投与割合が増加。
  - 入院時軽症・中等症例とともに、いずれの年代においても入院後に死亡する割合が低下。

##### 入院時軽症/中等症例

薬物治療の状況 <sup>※6</sup>	5/31までに入院した症例	6/1-12/31に入院した症例	
		レムデシビル	ステロイド薬(シクロソドを除く)
入院後に死亡する割合	0-29歳	0.0%	0.0%
	30-49歳	0.2%	0.1%
	50-69歳	1.3%	0.3%
	70歳-	9.7%	5.7%
	全年齢	2.4%	1.3%

##### 入院時重症例<sup>※5</sup>

薬物治療の状況	5/31までに入院した症例	6/1-12/31に入院した症例	
		レムデシビル	ステロイド薬(シクロソドを除く)
入院後に死亡する割合	0-29歳	1.3%	0.0%
	30-49歳	1.3%	0.6%
	50-69歳	9.1%	3.7%
	70歳-	30.0%	17.3%
	全年齢	17.1%	9.8%

※4 厚生労働科学研究「COVID-19に関するレジストリ研究」（研究代表者：大曲貴夫）において、2月15日までにレジストリに登録のあった入院症例を解析。

※5 入院時に酸素投与、人工呼吸器管理、SpO<sub>2</sub> 94%以下、呼吸数24回/分以上6のいずれかに該当する場合に入院時重症と分類。

※6 COVID-19の治療目的で薬物投与を行った症例における割合。ステロイド薬については、入院以前からCOVID-19の治療以外の目的で使用していた場合は除く。

Q 接種の始まった新型コロナワクチンはどのようなワクチンですか。今後どのように接種が進みますか。

#### ○ワクチンの特徴について

ファイザー社の開発したワクチンで、メッセンジャーRNAワクチンという種類のワクチンです。  
通常、3週間あけて2回接種します。

#### ○ワクチンの有効性について

新型コロナウイルス感染症を予防する効果があります。  
接種を受けた人が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した（熱が出たり、せきが出たりすること）人が少ないということがわかっています。（発症予防効果は95%と報告されています。）

#### ○ワクチンの安全性について

接種後に注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱などが見られることがあります。こうした症状の大部分は数日以内に回復しています。  
また、接種後にアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）が発生したことが報告されています。もしアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、予防接種の接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。

#### ○今後の接種の進め方について

接種を行う期間は、令和3年2月17日から令和4年2月末までの予定です。

現在は、医療従事者等への接種が進んでいます。その後、高齢者、基礎疾患有する方等の順に接種を進めていく見込みです。なお、高齢者への接種は、一部の市町村で4月12日に開始される見込みです。当初は実施する市町村や接種する人数が限られており、順次拡大していきます。

10

2021年4月中旬時点

Q 新型コロナウイルスの変異について教えてください。

A 現在、従来よりも感染しやすい、重症化しやすい可能性のある変異株<sup>(※1)</sup>や、ワクチンが効きにくい可能性のある変異株が世界各地で報告されています。

日本では、懸念される変異株の感染者数が増加傾向にあります。各地で変異株の感染者割合が上昇しており、急速に従来株から変異株への置き換わりがおきつつある状況です。

厚生労働省では、新型コロナウイルスのゲノムを解析し、変異の状況を監視しています。世界保健機関(WHO)や専門家とも情報交換を行い、こうした変異の分析・評価を行うとともに、国内の監視体制を強化しています。また、変異株事例が確認された場合には、検査や積極的疫学調査を強化して、感染拡大防止に取り組んでいきます。

個人の基本的な感染予防策は、変異株であっても、3密（特にリスクの高い5つの場面）の回避、マスクの着用、手洗いなどが、これまでと同様に有效です。国民の皆様には、改めて感染予防対策へのご協力をお願いいたします。

※1 英国の専門家会議の見解によると、従来よりも感染しやすい、重症化しやすい可能性のある変異株は、子どもが大人よりも感染しやすいということではなく、どの年齢であっても感染しやすい可能性があると報告されています。

(参考)一般的にウイルスは流行していく中で少しずつ変異を起こしていきます。この変異したウイルスが変異株です。変異が起こると性質の変化が起こり、感染しやすくなる場合等があります。新型コロナウイルスについても、約2週間で1カ所程度の速度で変異していると考えられています。

[トップ](#)

[ワクチンについて](#)

[ワクチンを受けるには](#)

[接種会場を探す](#)

[リンク集](#)

[よくあるご質問](#)

## 新型コロナウイルスワクチン 接種の総合案内

コロナワクチンナビは、新型コロナワクチンの接種会場を探したり、どうやって接種を受けるかなどの情報をご提供しています。

### 接種会場を探す



最寄りの医療機関・  
接種会場の検索  
接種の受付状況の確  
認

### ワクチンについて



現在国内で受けられる各ワクチンの概要・接種の実績

### ワクチンを受けるには



クーポン券が届いてからの予約、接種当日の流れ

### 新着情報

### [新着情報一覧](#)

2021年3月29日

[お知らせ](#)

[3月29日に「コロナワクチンナビ」をオープンしました](#)



法人番号 6000012070001  
〒 100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2  
電話番号 03-5253-1111（代表）

[トップ](#)

[ワクチンについて](#)

[ワクチンを受けるには](#)

[接種会場を探す](#)

[お問い合わせ](#)

[利用方法](#)

[よくあるご質問](#)

[新着情報一覧](#)

[リンク集](#)

[プライバシーポリシー](#)

[利用規約](#)

[アクセシビリティ方針](#)

Copyright © Ministry of Health, Labour and Welfare, All Rights reserved.

令和3年3月31日（水）

照会先

厚生労働省

健康局健康課予防接種室

高山（内8161）

松本（内2380）

（代表） 03（5253）1111

報道関係者各位

# 新型コロナワクチンに関する厚生労働省電話相談窓口（コールセンター）の多言語対応について

新型コロナワクチンに関して、厚生労働省の電話相談窓口を設置しておりますが、4月1日（木）より下記の言語に対応することといたしましたので、お知らせいたします。

厚生労働省としてはウェブサイト等と合わせて、引き続き正確な情報発信に努めて参ります。

（厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター）

電話番号：0120-761770（フリーダイヤル）

受付時間：下記参照（土日・祝日も実施）

日本語・英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語：9時00分～21時00分

タイ語：9時00分～18時00分

ベトナム語：10時00分～19時00分

65歳以上の方(昭和32年4月1日以前に生まれた方)へ

## 新型コロナワクチン接種の お知らせ

接種費用  
**無料**  
(全額公費)



未来につながる新型コロナ対策が、ひとつ増えました。

新型コロナワクチンは、発症を予防し、  
重症者や死者の発生をできる限り減らすことを目的としています。

## 新型コロナワクチンの有効性と安全性

ファイザー社のワクチン(コミナティ<sup>®</sup>)について

### ◎ワクチンの効果：

#### 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)による感染症の予防

メッセンジャーRNAワクチンという種類のワクチンです。

ワクチンを受けた人の方が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症(※)を発症した人が少ないということがわかっています。

(発症予防効果は約95%と報告されています。)

(※)新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、症状が重くなると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。



### ◎ワクチンの安全性：

#### ■接種後、数日以内に現れる可能性がある症状

発現割合	症 状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10-50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1-10%	吐き気、嘔吐

コミナティ<sup>®</sup>添付文書より改編

- ・接種直後よりも翌日に痛みを感じている方が多いです。
  - ・これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
  - ・疲労や関節痛、発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。
  - ・接種後すぐにアナフィラキシーや血管迷走神経反射が起こる可能性があります。
- 詳しくは4ページをご参照ください。

## ワクチンを受けるのに注意が必要な方など

◎以下に当てはまる方は、ワクチンを受けることができない場合や、注意が必要な場合があります。かかりつけ医等にワクチンを受けてよいかどうかご相談ください。

### 受けることができない方

- 明らかな発熱がある方や、重い急性疾患にかかっている方
- ワクチンの成分(※1)に対し、重度の過敏症を起こしたことのある方

### 注意が必要な方

#### ○現在、何らかの病気で治療中の方

- ・心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患、免疫不全で治療中の方
- ・血が止まりにくい病気の方や、血をサラサラにする薬(※2)を飲んでいる方

#### ○以下の様な症状が出たことがある方

- ・薬や食品に対する重いアレルギー症状
- ・けいれん(ひきつけ)

(※1)ポリエチレングリコールなどが成分として含まれます。ポリエチレングリコールは、大腸内視鏡検査時に下剤として使用する医薬品を始め、様々な医薬品に添加剤として含まれており、化粧品にも含まれていることがあります。その他の成分や、詳細については、厚生労働省ホームページをご参照ください。

(※2)このワクチンは、筋肉内に注射をします。そのため、抗凝固薬(ワーファリン<sup>®</sup>、プラザキサ<sup>®</sup>、イグザレルト<sup>®</sup>、エリキュース<sup>®</sup>、リクシアナ<sup>®</sup>)を内服中の方は、接種後の出血に注意が必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いします。

受ける方の同意なく、接種が行われることはできません。  
職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。



## ワクチンを受ける当日について

### ◎ワクチンを受ける前の注意点

- ・接種前にご自宅で体温を測定し、明らかな発熱がある場合や体調が悪い場合などは、接種を控え、予約した市町村の窓口や医療機関にご連絡ください。

通常、上腕の三角筋に注射するため

肩を出しやすい服装でお越しください。

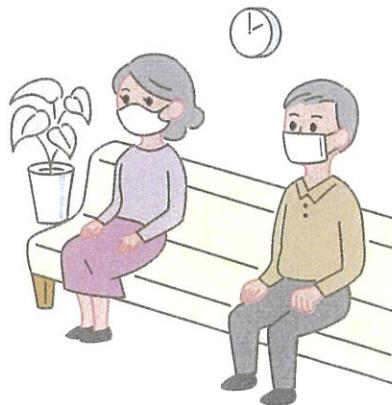


### ◎ワクチンを受けた後の注意点

接種会場にて

ワクチンを受けた後は、15分以上は  
接種会場で座って様子をみてください(※)。

※過去にアナフィラキシーを含む、重いアレルギー症状を起こしたことのある方や、採血等で気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は、30分ほどお待ちください。



### ■ 接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

#### ○アナフィラキシー

- ・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。
- ・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起ります。血圧低下や意識レベルの低下（呼びかけに反応しない）を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。
- ・起こることはまれですが、接種後にもしアナフィラキシーが起つても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、適切な医療体制を整備しています。

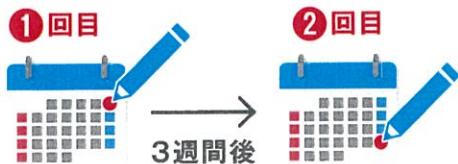
#### ○血管迷走神経反射

- ・ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。
- ・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。
- ・倒れてケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子をみてください。

(※)接種後、数日以内に現れる可能性がある症状については、2ページをご参照ください。

## ワクチンを受けた後について

**ワクチンは通常、  
3週間の間隔で2回接種します。**



- 2回目の予約方法については、1回目に受けた医療機関や市町村の案内をご確認ください。
- 接種後に現れた症状の種類によっては、2回目の接種は控えた方がよいこともあります。接種後に気になる症状が現れた方は、2回目を受けるかどうかも含めて、ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医にご相談ください。

ワクチンを受けた後も

**マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします**

ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、他の方への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを受けた方も受けていない方も、共に社会生活を営んでいくことになります。

**このため、皆さんに感染予防対策を継続していただくようお願いします。**

具体例 )



「3つの密(密集・密接・密閉)」の回避



マスクの着用 石けんによる手洗い 手指消毒用アルコールによる消毒の励行

## ワクチン接種の申し込み方法

### ■「接種券」を確認する

新型コロナワクチンは、①医療従事者、②高齢者（65歳以上）、  
③基礎疾患のある方等から順次接種を開始する予定です。65歳  
以上の方に、お住まいの市町村から「接種券」が届きますので、  
同封の案内をよく読んで、接種の準備を進めてください。



### ■医療機関/接種会場を探す

市町村からの広報やインターネットで、ワクチンを受けること  
ができる医療機関や接種会場を探しましょう。

接種総合案内サイト  
「コロナワクチンナビ」

サイトアドレス：  
<https://v-sys.mhlw.go.jp>



### ■予約する ワクチンを受けたい医療機関／市町村にお問い合わせください。

### ■当日の持ち物を準備する

- ・接種券（はがさず台紙ごとお持ちください）
- ・本人確認書類  
(マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証 等)



※医療機関や接種会場が探せない場合や、ご不明な点がある場合など、お住まいの市町村にお問い合わせ  
をすることができます。

※「接種券」は市町村から送付されます。

### ◎住民票がある場所（住所地）以外での接種について

- ・入院・入所中の医療機関や施設でワクチンを受ける方 → 医療機関や施設でご相談ください。
- ・基礎疾患の治療を行っている医療機関でワクチンを受ける方 → 医療機関でご相談ください。
- ・お住まいが住所地と異なる方 → 実際にお住まいの地域でワクチンを受けられる場合があります（※）。

（※）「住所地外接種届出済証」が必要になります。コロナワクチンナビでご確認いただくか、実際にお住まい  
の市町村の相談窓口にお問い合わせください。

## ご相談先など

### ◎新型コロナワクチンに関する相談先

ワクチン接種後に  
体に異常があるとき

→ ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医、  
市町村や都道府県の窓口

ワクチン接種全般に  
に関するお問い合わせ

→ 市町村の窓口

### ◎予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすることはできないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金の給付など)が受けられます。

申請に必要となる手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

### 新型コロナワクチンに便乗した詐欺にご注意ください!

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のために必要とかたり、金銭や個人情報をだましとろうとする電話に関する相談が消費生活センターへ寄せられています。

市町村等が、ワクチン接種のために金銭  
や個人情報を電話・メールで求めることは  
ありません。

困ったときは一人で悩まず、消費者ホットライン  
188(局番なし)にご相談ください。





新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索

ホームページをご覧になれない場合は、  
お住まいの市町村等にご相談ください。

